

参加
無料

産消提携と地球環境の今

開催日

平成23年1月22日(土)

13:00 ~ 16:00

和歌山大学生涯学習センター

和歌山市西高松 1-7-20

プログラム

基調講演

「都市農村交流の新たな展開と
農業・農村の価値」

講師：藤田 武弘 氏

(和歌山大学観光学部教授)

パネルディスカッション

- コーディネーター
藤田 武弘 氏
- パネリスト
 - ・NPO法人 和歌山有機認証協会事務局長
重栖 隆 氏
 - ・紀州大地の会 代表
園井 信雅 氏
 - ・アンジー農園 代表
山本 博 氏
 - ・元・百姓養成塾 事務局
春原 麻子 氏

地球温暖化
食料不足
食の安全など
問題を抱える私たち

現代社会の食と農のあり方を考え、
環境保全につながる有機農業等を育てるための
仕組み作り、産消提携の意義と必要性を考えます。



プロフィール



藤田 武弘 氏

和歌山大学 観光学部
地域再生学科教授
農業経済学博士

いま、わが国の農山漁村は存続の危機を迎えています。一方で、世界的な食料危機や食の安全確保に対する不安を背景に、自給率向上や地産地消、スローフードへの期待が高まり、「食」の背後にある「農」の営みや農山村での暮らしへの関心が広がっています。地域資源の宝庫・和歌山で、それらを活かした「地域再生」の取り組みの意義について考えてみたいと思います。



重栖 隆 氏

(NPO 法人わかやま環境ネットワーク代表理事)
ニュース和歌山元編集長。NPO法人わかやま環境ネットワーク代表、NPO法人 和歌山有機認証協会事務局長、地球温暖化防止センター長等を兼任し、地球環境問題に精力的に取り組んできた。新たに、産消提携を目指した「ふうど」を立ち上げ、「農と食」問題に注力している。



園井 信雅 氏

(紀州大地の会代表)

「第二の人生として」農業を始める。「紀州大地の会」代表として農業分野で取り組むと同時に、「和歌山EM活用研究会」代表としてEM菌で生ゴミの堆肥化や環境美化を進める研究と普及活動中。



山本 博 氏

(アンジー農園代表)

那賀有機農業実践グループのメンバーで、農業普及に真摯に取り組み、地域活性化のための幅広い活動を地道に続けている。アンジー農園の「トマト」は有名である。



春原 麻子 氏

(元百姓養成塾事務局)

東京大学総合文化研究科 修士課程修了。那賀勝浦町色川と出会い移住。「百姓養成塾」を先輩移住者と立ち上げ事務局に就任。今は事務局を集落支援員に引き継ぎフリーとなる。自らも百姓修業をしつつ若者が色川の住人と出会う機会をコーディネートしている。

会場案内

(会場)

和歌山大学生涯学習センター (旧松下会館)

和歌山市西高松 1-7-20

(アクセス)

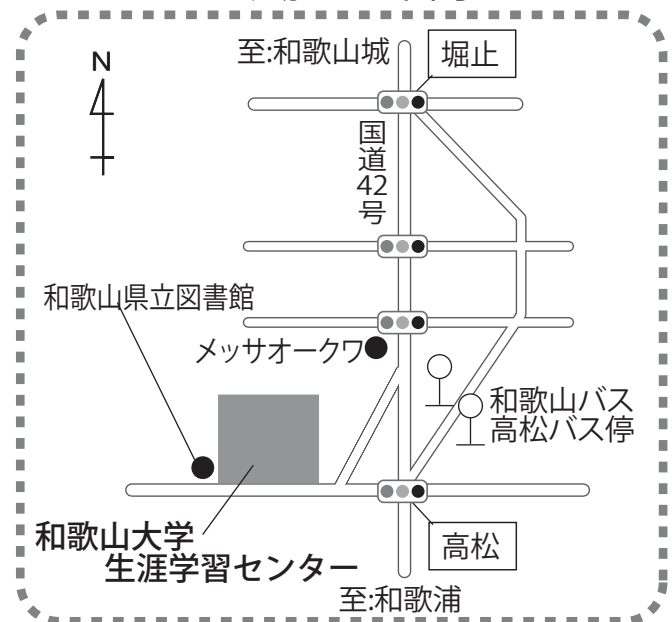
和歌山バスにて高松停留所下車 (停留所より徒歩3分)
最寄りの交通機関をお使いの上ご来場ください。

申込方法

申し込みは電話、FAX、メールで、下記まで氏名、電話番号、住所、またはメールアドレスを明記の上お申しこみください。

定員(200名)になり次第締め切ります。

*会場のご案内



お申込み・お問い合わせは

NPO法人 市民の力わかやま

〒640-8215 和歌山市橋丁 21 番地 N 2 ビル 3 F

TEL/FAX **073-428-2688**

e-mail **info@shimin.or.jp**